

大好評につき
2018年度も開催！

見える・つながる・つなげる

早期発見

早期支援

連携

ソーシャルワーカーのためのアルコール依存症回復支援基礎講座

アルコール依存症は、慢性で進行性の病です。放置すると、健康問題、貧困、家庭不和、自死、虐待、ドメスティックバイオレンス（DV）、介護、犯罪、飲酒運転などの社会的問題が深刻化する可能性が高くなります。しかし、アルコール依存症は、「見ようとしないと見えない」問題であることから治療や支援に結びつきにくく、悲惨な状況に陥りようやく病気と知ることもしばしばありません。

2014年に施行されたアルコール健康障害対策基本法は、「自業自得」のスティグマを張られた飲酒問題を、国、地方自治体、酒類販売者、医療従事者、国民等が責任を持って取り組む社会の問題として位置づけました。法律の目的を達成するために、アルコール依存症の渦中にいる人々にアウトリーチする専門職として、今、ソーシャルワーカーへの期待が高まっています。アルコール関連問題を支援するソーシャルワーク実践方法は、あらゆるソーシャルワークにも役立ちます。

この研修では、アルコール依存症が見える眼鏡を持ち（早期発見）、苦しむ人々や家族につながり（早期支援）、回復の資源につなげる（連携）方法を身につけ、ソーシャルワーカーの支援力が向上することをお手伝いいたします。

関西 開催日 2018年
12月8日（土）9日（日）

開催会場 新大阪丸ビル・別館

<http://marubiru-bekkan.com/room.php>

申込受付開始 2018年10月8日から

関東 開催日 2019年
3月16日（土）17日（日）

開催会場 東海大学 高輪キャンパス

4号館3階4304教室

http://www.u-tokai.ac.jp/info/traffic_map/shared/pdf/takanawa_campus.pdf

申込受付開始 2019年1月16日から

受講料振込完了順に受付いたします。定員になり次第、〆切とさせていただきます。

- ◆ 本研修は、日本医療社会福祉協会の認定医療社会福祉士認定ポイント（15ポイント）の対象となります。
- ◆ 本研修は、認定社会福祉士研修認証（地域社会・多文化分野1単位）の対象となります。

主催：一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会

後援：日本ソーシャルワーカー連盟（特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会）、公益社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人日本精神保健福祉士協会、公益社団法人日本医療社会福祉協会